

保 存 版

にいぞきたしょう
新曾北小

おやこ
親子あんぜんブック



おうちのひと

いっしょにみてね!

にいぞきたしょうがっこうにん
新曾北小 学校公認キャラクター
きたしろ

なまえ

にいぞきたしょうがっこう
新曾北小学校PTA



もくじ

じどうのみなさんへP. 1～2

道路^{どうろ}で気^きをつけようP. 3

いかのおすしP. 4

こども110番^{ぼん いえ}の家^しを知っていますか？P. 5

にいそきたしょうがっこう^{にいそきたしょうがっこう}がくなくない
新曾北小学校通学区内こども110番^{ぼん いえ}の家^{いちらん}一覧...P. 6

こども110番^{ぼん いえ}の家^しのしくみP. 7

ほごしゃ^{かた}の方^{かた}へP. 8～10

◎ご一読いただき、お子さまにもお話ください

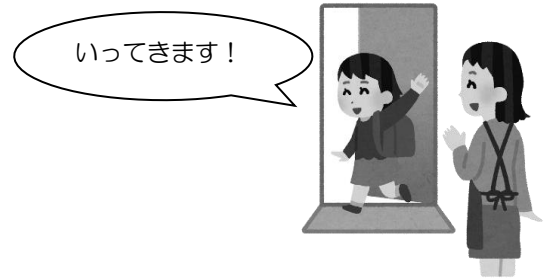


◇◇じどうのみなさんへ◇◇

◎あいさつは きちんとしましょう。

『おはようございます』

『いってきます』『ただいま』



◎つうがくはんで こうつうルールを まもって
とうこうしましょう。



◎ひとりにならない ようにしましょう。

がっこうから かえるときは なるべく

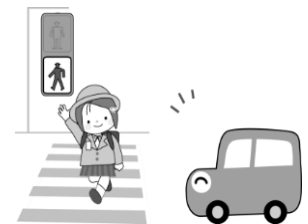
おともだちと いっしょに かえりましょう。

よりみちを してはいけません。



◎しんごうは「あお」でも

きちんと みぎとひだりを かくにんしましょう。



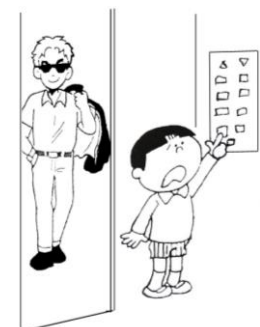
◎エレベーターに ひとりで のるときは

しらないひとと ふたりでのらない ようにしましょう。

しらないひとが のってきたら ちかくのかいで おりましょう。

すぐに ボタンをおせる ばしょに のりましょう。

※**ひじょうボタン**のばしょも おうちのひとに
おしえてもらいましょう。



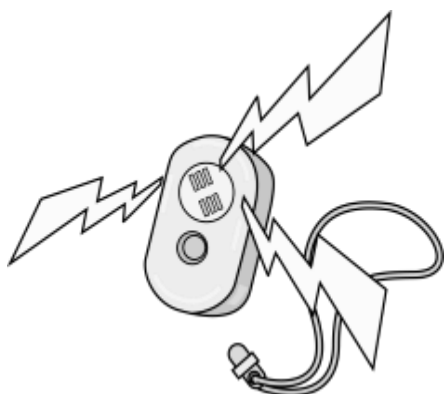
◎おるすばんをしているとき だれかがきても「ドア」を あけてはいけません。

◎あそびに行くときは「だれと どこで なんじまで あそぶか」
おうちのひとに はなしてから でかけましょう。

◎こわいとき たすけてほしいときは
おおきなこえで『たすけてー！』とさけびましょう。
『キャー』『ワァー』とさけんでも あそんでいるのかな と
かんちがいされてしまうよ。



ぼうはんブザー



こわいとき あぶないときに「ピー！」と
ならして まわりのひとに しらせましょう。
おもちゃでは ありません。
なんでもないときは イタズラしないでね。

おうちのひとに ときどき ぼうはんブザー
を かくにん してもらいましょう。
おとが ちいさいときは でんちを こうか
んしてもらいましょう。

ゆうやけチャイムがなったら かえりましょう！

ゆうやけチャイム

	ほうそうきかん	ほうそうじかん
はる	3月 ^{がつ} 15日 ^{にち} ~4月 ^{がつ} 30日 ^{にち}	ごご5じ30ぷん
なつ	5月 ^{がつ} 1日 ^{にち} ~8月 ^{がつ} 31日 ^{にち}	ごご6じ
あき	9月 ^{がつ} 1日 ^{にち} ~9月 ^{がつ} 30日 ^{にち}	ごご5じ30ぷん
ふゆ	10月 ^{がつ} 1日 ^{にち} ~3月 ^{がつ} 14日 ^{にち}	ごご4じ30ぷん

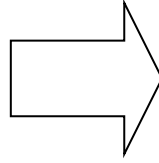


くらくなるまえに
おうちにかえろう。

道路で気をつけよう！

交通事故防止5つの行動（もとみまた）

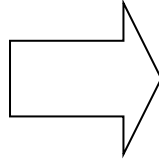
① もしかして



もしかして（危険予測）

くるま
車やバイク、自転車
が
くるかもしれないよ。

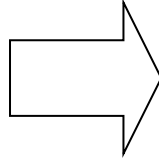
② とまる



とまる（一時停止）

おうだんどう てまえ と
横断歩道の手前で止まり
みぎ ひだり あんぜん
右・左の安全を
よく見て確かめましょう。

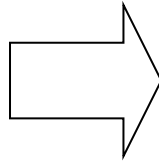
③ みる



みる（安全確認）

みぎ ひだり み あんぜん
右・左をよく見て安全を
たし
確かめましょう。

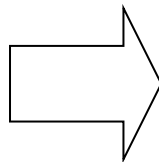
④ まつ



まつ（安全確保）

ちか く くるま
近づいて来る車があれば
とお す ま
通り過ぎるまで待ちましょう。

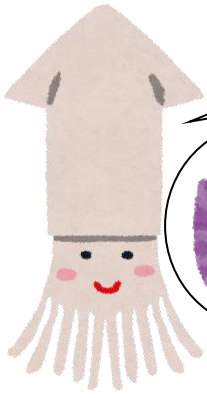
⑤ たしかめる



たしかめる（再確認）

もういちど みぎ ひだり み
もういちど右・左をよく見て
おうだんどう わた
横断歩道を渡りましょう。

よくよんで おぼえよう！！



い かの お す し

い かない

しらないひとに ついていかない



の ら ない

しらないひとの くるまにのらない



お お ぐ え で さ け ぶ

おおきなこえで たすけをよぶ



す ぐ に げ る

そのばから すぐにげる



し ら せ る

ちかくのおとなに しらせる



「いかのおすし」とは？
子供たちが自らの身を守るための行動をまとめた防犯標語です。

◇◇こども110番の家のしくみ◇◇

こども110番の家

～地域ぐるみで子供を守ろう～

子供が被害者となる事件が多発し大きな社会問題となっています。
子供たちが身の危険を感じ、助けを求めて来た時の一時保護と110番・119番
通報するために1994年からこども110番の家がスタートしました。



黄色の看板が目印です

こども110番の家対応マニュアル

この事業は児童生徒の安全確保を第一目的としています

「こども110番の家」へ児童生徒が
逃げ込んできたら・・・

- ①名前・学校名・クラス・駆け込んだ理由を聞いてください。
- ②必要に応じて学校や警察等（110番・119番）に連絡してください。
- ③児童生徒の家に連絡をとり、迎えに来るように依頼してください。
- ④「こども110番の家」となる協力者（家・商店等）が責任を問われることはありません。

まだまだ「こども110番の家」が足りません！！
《 新たにこども110番の家を設置する場合 》

- ①PTA会長、学校に相談する。

ご自身でお店や工場など日中(登下校の時間)人がいるところで、こども110番の家に協力していただける所を探してから相談されてもよいでしょう。

- ②自宅をこども110番の家として申請される場合は学校まで問い合わせをお願いします。

< 連絡先 > 新曽北小学校 048-442-3849



こども110番の家はどこにあるの？

通学路やその近くにありますが！お子さまと確認しておきましょう。
新しく「こども110番の家」が増えた時は、北小の子供たちや保護者のみなさまにもお知らせしています。



◇◇保護者の方へ◇◇

自転車に乗るときに気をつけよう

しっかり守ろう！自転車安全利用五則

.....
お子さまと自転車の交通ルールについてもお話をください

- ①自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - ・車道では前後左右の車の動きに注意しましょう。
 - ※13歳未満の子供が自転車に乗るときは歩道を通ることができます。
- ②車道は左側を通行
 - ・車道の左端に沿って走りましょう。
- ③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - ・歩行者通行を妨げるおそれがあるときは、一時停止をしなければなりません。
- ④安全ルールを守る
 - ・飲酒運転、二人乗り、並進は禁止。
 - ・夜間はライトを点灯。
 - ・交差点での信号厳守と一時停止、安全確認。
- ⑤子供はヘルメットを着用
 - ・自転車を運転させるときは、ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。

< 埼玉県ホームページ >

自転車に乗るときの基本ルール

「自転車安全利用五則」を守りましょう

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0311/jitensya/jitensyagosoku.html>



自転車保険への加入が義務化されています

.....
埼玉県では、「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」の改正により県内で自転車を利用する場合には、自転車保険への加入が義務となりました。

Q なぜ義務化されたの？

A 自転車事故を起こした際の被害者救済や、加害者の経済的負担の軽減を図るためです。

Q 詳しく知りたいけれど、どうすればいい？

A 「埼玉県自転車条例改正」で検索、または右 QR コードからホームページでご確認をお願いします。

< 埼玉県ホームページ >

自転車損害保険等の義務化について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0311/jitensya/jitensyajyourei.html>



保護者の方は、監護する未成年者の自転車の利用に係る保険に加入しなければなりません。ご自身やご家族の加入状況をチェックして、まだ加入がお済みでない場合はお早めに加入しましょう。既に加入済みの方も忘れずに更新しましょう。

交通事故を未然に防ぐために普段からできること

◎早起きさせ、時間に余裕をもって送り出しましょう

誰もいない通学路を、一人で登校するのはとても危険です。

◎子供を登校前にしからない

子供がしかられたことに気をとられ、赤信号やクラクションに気がつかなかつたことがあります。

◎子供にあった靴を履かせる

子供の成長は早いものですが、脱げやすい靴などを履いていると事故に遭いやすいだけでなく、ほかの子を危険に巻き込むことがありますので注意して見てください。

◎雨の日の持ち物は最小限に

荷物はなるべく手に持たないようにしましょう。服装は黄色やオレンジ色などの明るく目立つ色がよいです。また傘の正しい持ち方も確認しましょう。

◎普段から子供の様子をよく見る

いつもと様子が違うと気づいたら学校の先生や専門家に相談しましょう。学校で嫌なことがあった場合、少しでも学校に到着するのを遅らせようとしたり回り道や寄り道をしたりすることがあります。交通事故だけでなく、犯罪に巻き込まれる可能性もでてきます。

◎交通ルールを守っていても確認を怠らない

信号が青でも、バイクや自転車が突然すり抜ける・運転手が信号を見落とす・左折車に巻き込まれることがあります。横断歩道を渡るときは周囲をよく見て渡るよう、お子さんにお話ください。

犯罪を未然に防ぐために普段からできること

◎危険なことにあっている子供の救助

恐喝や暴行、無理やり連れ去られそうになっている子供がいたら大声で助けを呼び、すぐに警察に通報しましょう。その後、学校に連絡をお願いします。

◎地域の方々と日頃からのコミュニケーションが大切

何かあった時、力になってもらえます。
お世話になったらお礼の言葉を忘れずに。

◎校外パトロールや登校指導などにご協力をお願いします

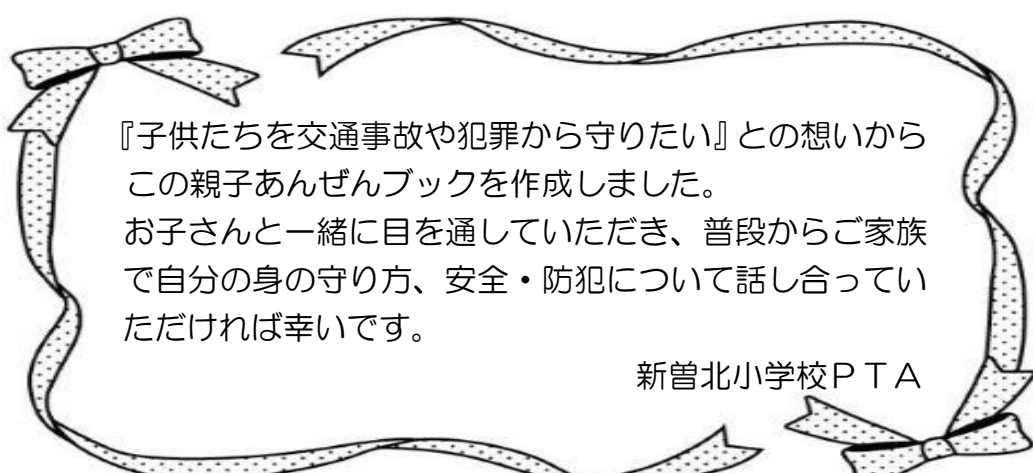
お勤めの行き帰りやお買い物の際などに通学路を利用していただけると、子供たちの安全を見守ることにもつながります。

◎記名の仕方を考える

持ち物などは、外から見えるところに名前を書かない。校外で名札を付けなくなったのがよい例です。持ち物の名前や、自転車に書いてある住所を見て声をかけてきたり、家を訪ねてきたりした例があります。

◎狙われないためには「ひとりにならない」

下校時など、やむを得ずひとりになってしまう場合は、いつも以上に周囲を警戒するように注意し、少しでも「変だ」「嫌だ」と思ったら、その場から逃げるなど、防犯についてご家族で話しておきましょう。また、服装にも気をつけましょう。



『子供たちを交通事故や犯罪から守りたい』との思いから
この親子あんぜんブックを作成しました。
お子さんと一緒に目を通していただき、普段からご家族
で自分の身の守り方、安全・防犯について話し合ってい
ただければ幸いです。

新曽北小学校PTA